

e ポートフォリオ「立教時間」

1. 概要

新たな e ポートフォリオシステム「立教時間」は、2017 年度から運用を開始した。

既存のシステムから全学的な展開を想定した新たなシステムとして更新され、10 月には旧システムからのデータ移行を完了した。

お知らせやイベント・プログラムの周知などを中心とした利用がなされている。また、旧システムからのデータ移行を完了し、新システムでの成果物管理が可能となった。

システム機能の実装においては、継続して追加機能開発を進め、2018 年度には「ワークシート管理」機能の実装や、SPIRIT 連携機能の改善を実施し、2019 年度からは「課題」機能の運用を開始する想定である。

あわせて、データ資源として有効活用することを前提とし、今後の追加機能開発や関連するシステム連携においても、データ活用を想定した整備を進めていくこととする。

2. コンセプト

学生 1 人 1 人が、入学から卒業まで、授業に関することにとどまらず学生生活で学んだことを蓄積していくための Web システムである。

目標を確認しながら自身の成長を振り返ることができる。大学や学部が設定したテーマを参考にしながら学生自身の目標を設定し、また、イベントやプログラムに参加した記録を「行動記録」として登録することが可能である。学習成果を含め、学生自身の「成果物一覧」が蓄積される。

学内、自宅などの PC、タブレット、スマートフォンに対応しており、いつでも、どこでもアクセスが可能となっている。また、ポータルサイト SPIRIT との連携で、メール、授業支援システム、お知らせを確認することも可能となっている。

3. 運用状況

(1). 利用状況

2017 年度より全学での運用を開始し、すべての学生ならびに教職員が利用可能となっている。また、10 月には旧システムからのデータ移行を完了し、完全に新システムでの成果物管理が可能となった。

	春学期 (4-9 月)	秋学期 (10-3 月)	通年
ユニークユーザ数	10,091	8,839	12,475
アクセス数 (延べ数)	402,544	336,354	738,898

表 1 : 2017 年度学生のアクセス数

(2). データ活用

ポートフォリオシステムや関連するシステムの運用を通じて得られる学修記録や操作ログなどの情報については、データ資源として有効活用することを前提とし、今後の追加機能開発や関連するシステム連携においても、データ活用を想定した設計を進めていくこととする。

以上